

糸島市長選挙の当選者

氏名	年齢	党派など
松本 嶺男	65	無所属

投票率 65.29% 前原選挙区:62.00%
二丈選挙区:71.87%
志摩選挙区:72.71%

糸島市議会議員選挙の当選者

※選挙区毎の50音順で紹介しています。

【前原選挙区】

(定数15人/投票率:61.99%)

氏名	年齢	党派など
有田 継雄	62	無所属
伊藤 千代子	52	日本共産党
井上 健作	60	無所属
浦 伊三次	62	無所属
江頭 晶子	65	社会民主党
黒田 公二	59	公明党
小島 忠義	59	無所属
笹栗 純夫	60	公明党
田原 耕一	59	無所属
徳安 達成	34	民主党
中村 隆光	68	無所属
古川 忠正	61	日本共産党
三嶋 俊蔵	61	無所属
三嶋 栄幸	54	無所属
吉丸 克彦	67	無所属

【二丈選挙区】

(定数4人/投票率:71.90%)

氏名	年齢	党派など
谷口 一成	58	無所属
波多江 一正	65	無所属
檜和田 正子	71	日本共産党
堀田 勉	54	無所属

【志摩選挙区】

(定数5人/投票率:72.71%)

氏名	年齢	党派など
寺崎 強	66	無所属
中嶋 正信	64	無所属
中村 進	59	無所属
松月 よし子	54	無所属
吉村 勝	62	無所属

今回の選挙で誕生した糸島市議会議員のみなさんのプロフィールなどについては、次号(3月15日号)の広報「いとしま」でご紹介する予定です。

糸島市の新しい市

長・市議が決定

2月14日に糸島市長・糸島市議会議員の選挙を行い、初代市長に松本嶺男氏が選出されました。また、これからの糸島市の市政をチェックする24人の市議会議員も選出され、糸島市の新しいまちづくりがスタートしました。

糸島市長選挙・市

議会議員選挙の結果

平成22年2月14日
投・開票



これからの糸島市を、どのようにデザインしていくのが課題(糸島の美しく多彩な海岸線)



糸島市長 松本 嶺男

人も元気、まちも元気、新鮮都市いとしま！を共に実現しましょう

この度の糸島市長選挙におきまして、みなさまのご支持を得て市政を担当させていただくことになりました。

糸島市の「成長の礎を築く」責任の重さと、みなさまの期待の大きさに身の引き締まる思いがいたします。

ご承知のとおり、世界最速で進むわが国の少子高齢化を根本的な要因として、われわれは誰もが経験したことのない縮小の時代へと進んでいます。

さらに地方では、主な政治、経済、教育機関が集中する三大都市圏などへ、働き盛りの世代が仕事を求めて転出していくため、活力の縮小傾向がより深刻なものとなっております。

この状況を乗り越えるために地方分権の流れが生まれ、全国的に市町村の合併が進み、われらが糸島市も誕生しました。

「自分たちの地域のことは国任せではなく、自ら考え進む道を決める」。地方分権・地域主権という言葉の響きや精神は本当に美しく気高いものです。

しかし、自ら決めるということは、同時に、それによって生じる労力や結果にまで責任を持つということを意味します。

そして、その判断は今を生きる世代の都合だけでなく、将来の世代のことまでを考えていかなければなりません。

その道のりは、決して平坦なものではないでしょう。

しかし、私はあえて「21世紀は糸島の時代」と申し上げたい。

わが故郷・糸島は約2000年前から、日本の外交の窓口、そして情報の発信基地として古代国家が栄えたところです。

それは、ここに人々が集まって暮らすための気候、海・山・大地からの豊かな恵み、そして充実した交通環境があつた証でもあります。

その魅力は2000年の時を経た現在も、美しい自然と、元気な第一次産業、そして九州の経済・文化・行政の中心である福岡市と結ばれた充実した交通ネットワークという形で見事に引き継がれています。

加えて九州大学の移転により、糸島市で研究活動が展開され、その成果や情報の受・発信が世界中と行われるようになります。

みなさんと行政が共に汗をかいて、これらの魅力を一体化すれば、「人も元気、まちも元気、新鮮都市いとしま」の実現は夢ではありません。みなさん、一緒に「元気なふるさと」をつくっていきましょう。